

第94回 道展 第64回 釧路移動展 開催報告

報告者 釧路移動展実行委員会事務局長 高橋 潤

今年の釧路移動展は、令和元年11月19日（火）から24日（日）まで、釧路市生涯学習センター3階の釧路市立美術館で開催されました。本展からの巡回作品73点に地元作家作品26点（内2点は巡回作品）を加えた計96点の展示は、60回記念展に匹敵する充実ぶりで、入場者数も昨年より100人以上上回る1,140名と、大変盛況となりました。

釧路移動展では、作品講評会を釧根地区からの出品者向けと一般市民対象に分け内容を変えて実施しています。今回は坂東宏哉（油彩）会員と福原幸喜（油彩）会員を講師に迎え、24日（土）の午後、出品者向けの講評会では、それぞれの課題や成果についてじっくり時間をかけてアドバイスを頂き、また翌日24日（日）の午前中に開催した一般市民向けの作品講評会では、協会賞受賞作品をはじめ、今回の道展の特徴的な作品について丁寧に解説して頂きました。講評会は市民の方々が毎年楽しみにして下さっており、多くの参加者が講師の解説に耳を傾け、道展作者の作風について理解を深める貴重な体験となっています。

今回の道展には釧根地区から、昨年新人賞を受賞した日本画の**中居瀛晟**さんが佳作賞を受賞し、また、油彩の**竹村恭子**さんが会友に推挙されるなど、大きな成果をあげました。更に日本画の**齊藤和子**さん、油彩の**遠藤寛**さん、**窪北耕治**さんが、初出品で初入選するなど、ここ数年、釧根地区からの出品者は、受賞や会友推挙が続いており、新たな創作エネルギーが勢いづいており、今後の発展にますます期待が高まっています。



講評会のようす①（坂東会員ありがとうございます）



講評会のようす②（福原会員ありがとうございます）

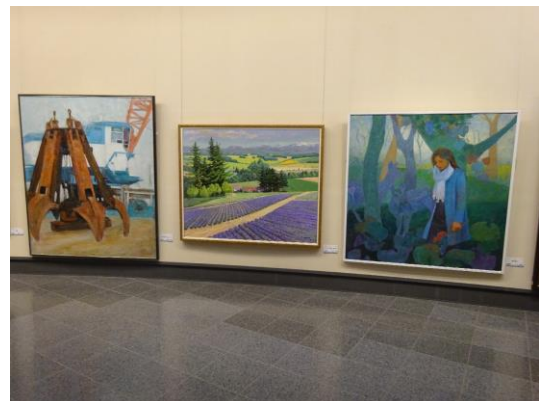




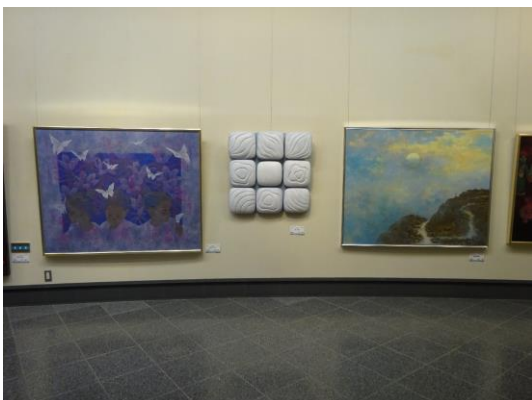
入り口展示は、地元作家竹村さん（油彩会友推薦）の作品。



日本画佳作賞を受賞した地元作家中居氏の作品（左）。



道展巡回作品の間に地元作家の皆さんの作品が見えます。



油彩画、日本画、水彩画、工芸…いろいろな作品を鑑賞できるのが道展の醍醐味です。